

# 保護者歓迎「待たなくていい」



高岡市伏木古国府の私立「かたかご幼稚園」が、積雪時に遅れがちな通園バスの運行状況を、保護者が携帯電話などで確認できるシステムを試験的に導入し、保護者から好評だ。システムを開発したのは地元のIT企業「ビーンズ・オンライン」(富山市)。安価に導入できるといい、同社は試験運用が終わる4月以降、ビジネス化を目指す。

試験運用は1月から始まり、バスに添乗する職員が携帯電話を利用し、停留所に着くたびに情報を送り、ウェブサイトに反映される仕組み。

## 通園バス時刻 ウェブで確認

保護者は、携帯電話やパソコンから専用サイトに接続し、子どもを乗せたバスの運行状況を画面上で確認できる。同幼稚園のパソコンでは全8ルートの運行状況が一目で分かる。

### 高岡の私立幼稚園試験導入

を評価、500万円を上限に事業費の半額を助成する地域産業活性化事業補助金の対象に認定した。

同幼稚園によると、保護者から分単位の正確なバス運行を求める声が強くなり、従来は15分以上遅れる場合、緊急連絡網で各家庭に電話連絡。だが、刻々と変化する運行状況は伝わらず、外出中の保護者には連絡が取れないこともあった。

携帯電話を使ってバス内から運行状況を登録するかたかご幼稚園の職員(14日、高岡市内で)

運行状況: 約5分先行

予定	実際	停留所
15:43	15:47	幼稚園発
15:48	16:03	稚園台第四
16:06	16:12	八住野田
16:19	16:15	栗が丘
16:26	16:21	栗が丘
16:33	未未未	栗が丘
16:35	未未未	栗が丘
16:50	未未未	栗が丘

更新

携帯電話で確認できる運行情報のイメージ

同園では、園児約200人のうち約7割がバスを利用し、氷見市や射水市など市外から通う子どももいる。冬季以外はほぼ正確に運行しているが、積雪時は少なくとも5〜10分程度の遅れが出る。

1月に保護者全員にアンケート調査すると、回答した128人のうち32%が利用経験があり、「寒い時期に外で長時間待つことがなくなった」「家からバス停まで距離があるのでとても便利」など好評だった。その後積雪が相次いだため、同幼稚園は21日に再度、保護者にアンケートを依頼した。試験運用は3月までだが、向野外行園長は「子どもの安全・安心のためにも軌道に乗せて継続したい」と話している。